

目 次

巻頭図版

I	平成 22 年度青谷上寺地遺跡第 12 次調査概要報告（茶谷・河合）	1
II	青谷上寺地遺跡西側丘陵の遺跡分布調査について（家塚）	9
III	考古学と地質学による層序の捉え方について（茶谷・河合・村田）	13
IV	大韓民国における資料調査報告（家塚・水村・河合）	15
V	資料紹介：青谷上寺地遺跡出土の線刻絵画木器について（茶谷）	21
VI	鳥取県内の砂丘遺跡について（久保）	25

例 言

- 1 本書は、平成 22 年度第 12 次発掘調査の概要および平成 22 年度までに実施した調査研究等の報告である。
- 2 本書の執筆は、久保穰二郎、家塚英詞、茶谷 満、水村直人、河合章行、村田泰輔が分担し、各章文末に文責を記した。編集は茶谷が担当した。
- 3 青谷上寺地遺跡発掘調査の呼称は、平成 17 年度より「第〇次調査」に統一している。
- 4 遺構図に示した方位、座標値は国土座標第 V 系（日本測地系）に準拠し、高さは海拔高で表している。